



| | | | |
|-----------------------|---------|-------|--|
| 平成30年1月29日(月) 岐阜県発表資料 | | | |
| 担当課 | 担当係 | 担当者 | 電話番号 |
| 岐阜大学 総合企画部総務課 | 広報室 | 伊藤、佐藤 | 直通 058-293-2009 |
| 産業人材課 | 産学金官連携係 | 森、森嶋 | 内線 3292 直通 058-272-8406 FAX 058-278-2676 |

岐阜大学と県内企業が連携する実習授業の成果発表会を開催！！ ～実習授業の成果を学生が発表します～

県では、産業界、大学、金融機関と連携して、県内企業の高度技術者等の確保・育成及び定着を支援し、地域経済の活性化を図るため「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト*」を推進しています。

このプロジェクトでは、県内企業の経営者・技術リーダーによる企業の魅力を伝える講義や企業の課題解決等をテーマとする実習を岐阜大学の授業として実施することにより、学生、教授に県内企業の魅力を知ってもらい、学生の県内企業への就職につなげていくことを目的としています。

このたび、学生による実習授業の「成果発表会」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1. 日時・場所

平成30年2月2日(金) 13:00～18:00
ホテルグランヴェール岐山(岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地)

| 事項 | 時間 | 場所 |
|-------------------------------|-------------|------------------|
| <プレゼン発表会> ～学生によるプレゼンテーション～ | 13:00～17:00 | カルチャーホール (2階) |
| <ポスター発表会> ～掲示ポスターを使った質疑応答～ | 17:30～18:00 | 鳳凰 (3階) |

2. 内容 **※すべて取材可能です。**

<プレゼン発表会>

(1) あいさつ 13:00～13:10

- ・岐阜大学代表者 副学長 王 志剛(わん ずがん)
- ・受入企業代表者(株)ナベヤ 代表取締役社長 岡本 知彦(おかもと ともひこ)
(産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会 会長)

(2) 学生による成果発表 13:10～17:00

- ・各グループの授業成果を、学生がプレゼンテーションします。
(29グループ、各7～8分、発表は別添「スケジュール」のとおり)
- ・受入企業において演習課題に取り組んだ21グループについては、学生のプレゼンテーション終了後、企業担当者よりコメントをいただきます。
- ・会場の出入りは自由です。(途中入場、途中退場は可能)

<ポスター発表会>

- ・授業成果をまとめたポスターを会場に掲示し、学生がポスターを使いながら授業成果を説明しつつ、適宜、質問等に対応します。

3. 参加予定者

- ・岐阜大学工学部・大学院自然科学技術研究科・地域科学部の学生 約140名
- ・岐阜大学 担当教員、職員等 約30名
- ・実習授業の受入企業等の経営者、社員 約90名

《参考：授業の概要》

実習事業は、岐阜大学工学部、大学院自然科学技術研究科、地域科学部において進めています。

○工学部 機械工学創造演習・知能機械工学演習 III

- ・対象学生

岐阜大学工学部機械工学科 3年生 140名

- ・授業内容 (全15回 授業時間は、全て13時～17時)

<第1回、第2回>

10月5日(木)、12日(木) 授業のスケジュール、各演習テーマの説明等

<第3回>

10月19日(木) 受入企業見学会及び企業経営者の講話(場所：各受入企業)

<第4回～第13回>

11月～1月 演習

※対象学生140名のうち、約100名が受入企業にて実地演習を実施。残り40名は大学の研究室で演習を実施。

<第14回>

1月25日(木) 演習成果のまとめ、発表会の準備

<第15回>

2月 2日(金) 成果発表会

- ・受入企業及び演習課題

県内の企業が学生を受け入れ、新たな商品開発や生産ラインの改善等に、学生が取り組みました。(受入企業については、別添「スケジュール」を参照)

- 大学院自然科学技術研究科(生物生産環境科学専攻、物質・ものづくり工学専攻)では学生が工程改善の演習課題等に取り組み、地域科学部では学生18名が企業実習受入企業で活躍する社員の方々取材し、企業の紹介レポートを作成しました。この学生による企業レポートはオール岐阜・企業フェスで配布し、また岐阜県のホームページでも掲載しています。

※産学金官連携人材育成・定着プロジェクト

県、産業界、大学、さらには金融機関が連携し、県内企業の高度技術者等の確保・育成及び定着を支援し、地域経済の活性化を図るため各種事業を展開。

産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会(設立：平成27年9月)がプロジェクトを推進。

<主な実施内容>

11/16(木) 企業と学生の交流会(会場：岐阜大学第二食堂)

12/1(金)・2(土) オール岐阜・企業フェス(会場：岐阜メモリアルセンター内)

県内企業、学生が一堂に集うプレ就活イベント

参加企業：約240社、参加学生：約2000名

[産学金官連携人材育成・定着プロジェクトに関する問い合わせ先]

岐阜県商工労働部産業人材課 担当：森、森嶋、仙石

TEL:058-272-8406、FAX:058-278-2676

発表会 スケジュール

| グループ 番号 | 開始 時刻 | 演習テーマ | 受入企業名 |
|----------------------------|----------|---------------------------|----------------|
| あいさつ (13:00~13:10) | | | |
| ◆機械工学創造演習・知能機械工学演習Ⅲ 工学部 | | | |
| 1 | 13:10 | 加飾技術による射出成形品の高付加価値化 | (株)岐阜多田精機 |
| 2 | 13:18 | ツーリングブロックの最適化 | (株)ナベヤ |
| 3 | 13:26 | 航空機部品加工時のびびり振動対策 | 徳田工業(株) |
| 4 | 13:34 | ハイテン材の塑性加工 | 鳥羽工産(株) |
| 5 | 13:42 | 製品生産における生産性の改善 | (株)樋口製作所 |
| 6 | 13:50 | 鑄造シミュレーションを用いた鑄物製品の不良率低減 | (株)水生活製作所 |
| 7 | 13:58 | 組立作業を改善する治具の検討 | (株)イマオコーポレーション |
| 8 | 14:06 | 金型等の段取り改善による生産性向上 | (株)ハイビックス |
| 9 | 14:14 | 材料力学を利用したもの | — (大学内演習) |
| 10 | 14:21 | 圧縮着火器の設計 | — (大学内演習) |
| 11 | 14:28 | 2次殺菌機出口コンベアの改善 | (株)秋田屋本店 |
| 12 | 14:36 | 機械の熱変形等の解析シミュレーション | (株)ナガセインテグレックス |
| 13 | 14:44 | MATLAB, C++演習 | — (大学内演習) |
| 14 | 14:51 | メカトロのためのプログラミングとシステム設計の基礎 | — (大学内演習) |
| 15 | 14:58 | 宇宙探査ミッションの立案 | — (大学内演習) |
| 休憩 (15:05~15:15) | | | |
| 16 | 15:15 | 新商品の企画開発 | (株)オンダ製作所 |
| 17 | 15:23 | 新技術開発～鍛造加熱材を効率的に“冷ます”～ | アサヒフォージ(株) |
| 18 | 15:31 | プラスチック射出成形金型の設計と製品試作 | (株)黒田製作所 |
| 19 | 15:39 | 検査工程の目視検査の改善 | (株)ギフ加藤製作所 |
| 20 | 15:47 | 搬送装置の基礎と改善案の検討 | (株)エヌテック |
| 21 | 15:55 | 製造効率向上を目指した作業支援システムの検討 | 各務原航空機器(株) |
| 22 | 16:03 | 管理手法を見直すことによる生産工程の効率化 | ミズタニバルブ工業(株) |
| 23 | 16:11 | 製造設備の搬送に関わる課題解決 | イハラサイエンス(株) |
| 24 | 16:19 | ダイカスト品質の課題解決 | 美濃工業(株) |
| 25 | 16:27 | 生命現象を人工系に置き換えて考える | — (大学内演習) |
| 26 | 16:34 | ロボットの設計・計測・制御のための基礎技術 | — (大学内演習) |
| ◆インターンシップ型演習 大学院生物生産環境科学専攻 | | | |
| 27 | 16:41 | 生菌数減少のため工程改善 | わかば農園(株) |
| ◆工業デザイン特論 大学院物質・ものづくり工学専攻 | | | |
| 28 | 16:49 | 工業デザイン特論 | (株)ハイビックス |
| ◆学生による企業レポート 地域科学部地域政策講座 | | | |
| 29 | 16:57 | 学生による企業レポート | — |